

# バージョン 5.5 からの 6.x へのアップグレード VMware ESXi。

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料に Command Line Interface ( CLI ) によってバージョン 5.5 から 6.x に伸縮性がある空 X 統合 ( ESXi ) hypervisor をアップグレードする方法を記述されています。ESXi は仮想化の顧客が好む hypervisor の 1 つで、また仮想化された環境の上を動作するすべての Unified Communication インフラストラクチャ、Sourcefire および他の複数のサーバを含む多重プラットフォームのための Cisco によって優先する hypervisor 行います。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- VMware ESXi hypervisor バージョン 5.5 が付いている Unified Computing System ( UCS )
- ESXi hypervisor へのターミナルアクセス
- Java使用可能なブラウザの Cisco Integrated Management Controller ( CIMC ) Webページへのアクセス

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Unified Computing System C460。
- ESXi hypervisor バージョン 5.5。
- Firefox ブラウザ。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 背景説明

VMware は一般のサポートの端および ESXi 5.5 のための技術的な指導の終わりのための死回線を送達しました:

ESXi 5.5	.	2013/09/19	2018/09/19	2020/09/19	EP		A, B
----------	---	------------	------------	------------	----	--	------

それは ESXi 6.0 および 6.5 に仮想化されたインフラストラクチャをアップグレードする好ましい習慣です。

## 設定

CLI によるアップグレード プロセス:

ステップ 1.仮想マシン (VM) をアップグレードされるべき ESXi サーバのその実行シャットダウンして下さい。

ステップ 2.メンテナンス モードに ESXi サーバを置いて下さい。これは hypervisor がサーバが実行し、アップグレードするようにする重要なサービスを消すのを助けます。

vSphere クライアントを使用できます:

The image shows a screenshot of the vSphere Host Configuration Manager interface. The 'General' tab is active, displaying various host configuration details. Below the 'General' tab, the 'Commands' tab is visible, listing several actions that can be performed on the host. The 'Enter Maintenance Mode' command is highlighted with a red rectangular box.

General	
Manufacturer:	Cisco Systems Inc
Model:	UCSC-C460-M4
CPU Cores:	72 CPUs x 2.094 GHz
Processor Type:	Intel(R) Xeon(R) CPU E7-8870 v3 @ 2.10GHz
License:	VMware vSphere 5 Enterprise Plus - Licensed for 4 physic...
Processor Sockets:	4
Cores per Socket:	18
Logical Processors:	144
Hyperthreading:	Active
Number of NICs:	6
State:	Connected
Virtual Machines and Templates:	41
vMotion Enabled:	Yes
VMware EVC Mode:	Disabled
vSphere HA State:	N/A
Host Configured for FT:	No
Active Tasks:	
Host Profile:	
Image Profile:	(Updated) ESXi-5.5.0-1746...
Profile Compliance:	N/A
DirectPath I/O:	Supported

  

Commands	
	New Virtual Machine
	New Resource Pool
	Enter Maintenance Mode
	Reboot
	Shutdown

または CLI。 そうするために、コマンドを実行して下さい:

```
vim-cmd /hostsvc/maintenance_mode_enter
```

ステップ 3.発信 Hyper Text Transfer Protocol ( HTTP ) 接続を許可する修正する ESXi ファイアウォール。

VMware サーバが実際のアップグレード ファイルのために問い合わせられるので、ESXi サーバからの HTTP 発信接続は許可する必要があります。

vSphere クライアントを使用できます:

The screenshot shows the vSphere Configuration console with the 'Security Profile' tab selected. The 'Firewall' section is expanded, displaying a table of incoming connections. The 'httpClient' entry is highlighted with a red box.

Incoming Connections	Port	Protocol	Access
vSphere Client	902,443 (TCP)	TCP	All
ovmsd	12345,23451 (UDP)	UDP	All
DHCP Client	68 (UDP)	UDP	All
DNS Client	53 (UDP)	UDP	All
ipfam	6999 (UDP)	UDP	All
vmauxp	8080 (TCP)	TCP	All
vMotion	8080 (TCP)	TCP	All
CEM Secure Server	5989 (TCP)	TCP	All
Fault Tolerance	8100,8200,8300 (TCP,UDP)	TCP,UDP	All

The screenshot shows the 'Firewall Properties' dialog box. The 'Remote Access' section is visible, showing a list of services with checkboxes. The 'httpClient' checkbox is checked and highlighted with a red box.

Label	Incoming Ports	Outgoing Ports	Protocols	Daemon
<input type="checkbox"/> vSphere High Availability Agent	8182	8182	TCP,UDP	Stopped
<input checked="" type="checkbox"/> HBR		31031,44046	TCP	N/A
<input checked="" type="checkbox"/> rdt	2233	2233	TCP	N/A
<input checked="" type="checkbox"/> Fault Tolerance	8100,8200,8300	80,8100,8200,8300	TCP,UDP	N/A
<input type="checkbox"/> syslog		514,1514	UDP,TCP	N/A
<input checked="" type="checkbox"/> VMware vCenter Agent		902	UDP	Running
<input type="checkbox"/> IKED	500	500	UDP	N/A
<input type="checkbox"/> VM serial port connected over net...	23,1024-65535	0-65535	TCP	N/A
<input checked="" type="checkbox"/> httpClient		80,443	TCP	N/A
<input checked="" type="checkbox"/> ipfam	6999	6999	UDP	N/A

または CLI。そうするために、コマンドを実行して下さい:

```
esxcli network firewall ruleset set -e true -r httpClient
```

ステップ 4.利用可能なアップグレードバージョンのクエリ VMware サーバ。

使用されるどれが、これをするを実行しますコマンドをこの場合すべてのアップグレード可能なバージョンは判別するためにリストすることができます:

```
esxcli software sources profile list -d
```

```
https://hostupdate.vmware.com/software/VUM/PRODUCTION/main/vmw-depot-index.xml |
```

```
grep ESXi-6
```

これはすべてのアップグレード可能なバージョンをリストします。非ツールバージョンはさもないければ、標準アップグレードバージョンが使用することができれば vmware ツールのアップグレードが必要とならなければ選択できます。

ステップ 5.アップグレード プロセスをアップグレードし、開始するためにバージョンを選択して下さい。

アップグレードするべきまさにそのバージョンが決定されれば、アップグレード プロセスはコマンドで開始できます:

```
esxcli software profile update -d
```

```
https://hostupdate.vmware.com/software/VUM/PRODUCTION/main/vmw-depot-index.xml -p
```

```
ESXi-6.0.0-20170202001-standard
```

ステップ 6.サーバをリブートして下さい。

アップグレード プロセスが完了した後、新しいバージョンが実施されることができるようサーバの再度ブートするが必要となります。コマンドを実行して下さい:

```
reboot
```

ステップ 7.終了メンテナンス モード。

ESXi ホストがオンライン、すべての VM オペレーションを回復するためにメンテナンス モードから終了して下さい。

vSphere クライアントを使用できます:



または CLI。そうするために、コマンドを実行して下さい:

```
vim-cmd /hostsvc/maintenance_mode_exit
```

## 確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

アップグレードが正常に完了したことを確認するために、vSphere クライアントを使用できます。ESXi ホストおよび新しいバージョンへのナビゲートは上で見られる場合があります。または使用 CLI。そうするために、コマンドを実行して下さい:

```
vmware -v
```

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。